

平成25年度町田市教育委員会

第11回定例会会議録

- 1、開催日 平成26年（2014年）2月7日
- 2、開催場所 第三、第四、第五会議室
- 3、出席委員
- | | | | |
|-----|---|----|----|
| 委員 | 長 | 佐藤 | 昇 |
| 委員 | | 岡田 | 英子 |
| 委員 | | 井関 | 孝善 |
| 委員 | | 高橋 | 圭子 |
| 教育長 | | 渋谷 | 友克 |
- 4、署名委員
- 委員長
- 委員
- 5、出席事務局職員
- | | | |
|--------------|----|-----|
| 学校教育部長 | 坂本 | 修一 |
| 生涯学習部長 | 田中 | 久雄 |
| 学校教育部次長 | 高橋 | 良彰 |
| （兼）教育総務課長 | | |
| 教育総務課担当課長 | 有田 | 宏治 |
| （兼）教育総務課事務係長 | | |
| 学校教育部次長 | 佐藤 | 卓 |
| （兼）施設課長 | | |
| 学務課長 | 田中 | 英夫 |
| 保健給食課長 | 佐藤 | 浩子 |
| 学校教育部指導室長 | 小池 | 慎一郎 |
| （兼）指導課長 | | |
| 指導課担当課長 | 吉川 | 清美 |
| 統括指導主事 | 小林 | 洋之 |
| 教育センター所長 | 谷 | 博夫 |
| 統括指導主事 | 中原 | 明寿 |
| 生涯学習総務課長 | 神田 | 貴史 |

生涯学習センター長	熊 田 芳 宏
生涯学習部図書館担当部長	尾留川 朗
(兼) 図書館長	
図書館市民文学館担当課長	横須賀 秀 男
(町田市民文学館長)	
図書館副館長	近 藤 裕 一
図書館担当課長	吉 岡 一 憲
書 記	高 橋 由 希 子
書 記	谷 山 里 映
書 記	村 井 博 宣
速 記 士	平 野 京 子

(株式会社スタッフジャパン)

6、提出議案及び結果

議案第77号	町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を求めるところについて	承 認
議案第78号	町田市教育委員会児童生徒表彰について	原 案 可 決
議案第79号	教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めるところについて	承 認
議案第80号	町田市教育プランの改定について	原 案 可 決
議案第81号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めるところについて	承 認
議案第82号	町田市社会教育委員の設置に関する条例の全部改正について	原 案 可 決

7、傍聴者数 1 名

8、議事の概要

午前10時00分開会

○**委員長** おはようございます。それでは、ただいまから町田市教育委員会第11回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は岡田委員です。

日程の一部変更をお願いします。日程第2、議案審議事項のうち、議案第79号及び第81号は非公開案件ですので、日程第3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、日程第4として、関係者のみお残りいただき審議したいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

以下、日程に従って進めさせていただきます。

まず日程第1、月間活動報告に入ります。

教育長から説明をお願いします。

○**教育長** それでは、前回の教育委員会定例会以降の主に教育委員会に関わる活動についてご報告をいたします。

前回の教育委員会定例会は1月10日、金曜日でございました。この日から、国際版画美術館を舞台に中学校の美術作品展が始まりました。私は、初日にお伺いしております。

同じ日に、自治労町田市職員労働組合の新春旗開きがございましたので、これにも参加をしてみりました。

14日の火曜日ですが、平成25年度中学生人権作文コンテストの表彰式がございましたので、これに出席をし、ご挨拶をしてみりました。

同じ日に、市長に対して、定例で行っております教育委員会の活動報告をしました。今回は、12月について日程的に報告が難しかったので、12月と1月の活動報告をしたところ です。

15日、水曜日ですが、都市教育長会の定例会並びに東京都教育委員会の教育長以下、幹部職員の皆さんとの懇談会・連絡会に出席をしてきました。

16日は、定例の校長会でございまして、新年ということで、委員長はじめ各教育委員にもご出席をいただいたところです。

同じ日に保護司会の新春の集いがございましたので、これに委員長とともに出席をして

おります。

それから、19日、日曜日ですが、町田市消防団の出初式が市民ホールで行われました。通常は町田第一小学校等を会場にして行うわけですが、今回は消防団の55周年式典ということも含めて行いましたので、市民ホールで開催されたものです。

20日、月曜日ですが、市教委訪問で鶴川第二中学校に行っていました。各教室を回る中で、大変に授業規律が整っていることが非常に印象的でした。

この日から、庁舎1階のイベントスタジオで学校給食展を開催しております。現在の学校給食の実態等について、市民の皆様にご覧いただくということを目的として行いました。今年度につきましては、試食もできるような形で取組をしたところです。

それから、21日、火曜日ですが、町田市学校給食問題協議会へ諮問を行いました。これは、給食の望ましいあり方についてご協議をいただくということでございます。第10期の学校給食問題協議会でございますが、この10期の協議会につきましては、アレルギーの関係ですとか、給食費の消費税の導入に伴う値上げの関係ですとか、さまざまなテーマで諮問を行っており、今回は3回目の諮問ということになります。

それから、23日ですが、経営会議がございました。経営会議については、私は日常的に出席をしておりますが、今回はこの経営会議に新しい教育プランを付議したということで、「主な活動状況」に記載したものでございます。内容といたしましては、これまでも報告をしてきたものでございますので、若干の議論の後、承認ということになっております。

同じ日に定例副校長会が行われました。3学期初めての副校長会ということでご挨拶をしたところです。

やはり同じ日に、東京都教育委員会の職員表彰がホテルフロラシオン青山で行われました。町田市からは、個人表彰として、つくし野小学校の金子校長先生、それから団体表彰として、南中学校・南第四小学校の万引き未然防止指導の普及啓発の取組について表彰がございました。

それから、24日、金曜日ですが、副校長会の研究発表会が行われましたので、お伺いをし、ご挨拶をいたしました。

この日から小学校の図画工作展が開かれました。中学校の美術作品展に続くものです。私は1月30日に見学をしてきたのですが、やはり毎回毎回少しずつ作品の内容が変わっていて、今回、小学校では、平面的な絵に造形の要素を加えた作品が大変多かったというのがとても印象的でした。

25日の土曜日ですが、第60回の文化財防火デーの消防演習が成瀬の東雲寺を舞台に行われました。これは、ご存じのように、文化財防火デー、法隆寺の金堂の壁画が焼損したことを機に設けられたものですが、毎年、町田市内の神社、あるいはお寺を舞台にして行われております。町田消防署、町田市消防団、地元のボランティアの皆さん等々が参加をして、非常に統制のとれた演習を拝見できました。

同じ日、町田市薬剤師会の新年会が開催されましたので、市の関係者も多く参加をしておりますが、教育委員会事務局では私と保健給食課長が出席をしてまいりました。

26日、日曜日につきましては、市内で4番目の子どもセンターであります「ただON」、忠生地区の子どもセンターが開所しましたので、その式典に出席をいたしました。

同じ日に、市民ホールで第53回小・中学生書初展の授賞式が行われました。この書初展には、教育委員会賞が設けられておりますので、私からその表彰並びにご挨拶を行ってまいりました。

27日が市教委訪問、今度は鶴川第三小学校です。その1週間後、2月3日に三輪小学校にも市教委訪問に行っておりますが、両方の学校とも、ほとんどの子どもたちは先ほど申し上げた鶴川第二中学校に進学をするわけで、やはり鶴三小、三輪小ともに、子どもたちが非常に落ち着いている様子が見てとれました。そのことが鶴川二中の雰囲気大きくなっているんだなという印象を持ったところです。

資料の裏面にいきまして、28日に第4回となります「スポーツアワードまちだ」の選考委員会が開催されましたので、これに出席をいたしました。今回は、ご存じのとおり、国体が昨年開催されましたので、そこに関わる表彰も新たに増やすということで、2月19日の授賞式を予定しているところです。

30日の木曜日に、市民文学館で現在開催中の「遠藤周作展」を拝見してまいりました。

続いて、31日、金曜日ですが、本年度第2回目となります町田市青少年問題協議会がございましたので、委員として出席をしております。今回の協議のテーマは「中・高生の居場所」ということで、出席された委員さんの間で、さまざまな観点から意見交換がなされたところがございます。

2月3日の月曜日ですが、先ほど申し上げました市教委訪問で三輪小学校に行っております。

翌4日、火曜日ですが、生涯学習センターのホールにおきまして、町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式が行われました。各委員とともに出席をしております。後半に、学

校支援ボランティアコーディネーターの方の実践発表の事例があったわけですが、大変充実した内容で感服をいたしました。

5日、水曜日ですが、市民ホールを会場に、小学校教育研究会の研究発表が行われました。それぞれの先生が熱心に取り組んでいる様子が見てとれました。

6日、木曜日ですが、スポーツ祭東京2013町田市実行委員会第5回総会ということで、これが最後となる解散総会が行われました。これに出席をしております。

同じ日に、校長役員連絡会がございました。今年度最後の校長役員連絡会でしたが、これに出席をいたしております。

以上です。

○**委員長** ありがとうございます。両部長から何かございましたらお願いいたします。

○**学校教育部長** 特にございません。

○**生涯学習部長** 特にございません。

○**委員長** それでは、今、教育長から報告がありましたが、何か質問などありましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、次に、各委員から報告をお願いしたいと思います。高橋委員、お願いいたします。

○**高橋委員** 3件報告させていただきます。

1月22日、八王子市の生涯学習センターで行われた子育て応援ひろば「子どもはみんな個性的～知っておきたい発達障害」に参加してきました。この講座は全4回で行われていて、私は2回目の「思春期、そして自立に向けて」という題の講座に参加いたしました。第9回の定例教育委員会で、私は、子育てや家庭教育について保護者が学ぶ機会が必要で、町田市では乳幼児・幼児、小学生、中学生の保護者のために、それぞれ家庭教育支援講座が設けられており、大変評価していると報告いたしました。今回、八王子市の生涯学習センターに出向いて、家庭教育支援がほかの自治体ではどのように行われているのか見学してきました。

今回の講座は、発達障がいについての理解ということで、対象は子育て中の保護者に限らず、どなたでもということでした。子育て中の保護者には、町田市と同様、家庭教育講座がさまざまなテーマで設けてあり、それとは別に、「子育て応援ひろば」という名目で、子育てしている、していないに関係なく、子育てや子どもについて学べる講座が開かれて

いました。子育てをしている保護者をサポートする人たちのための講座であり、多くの方が子育てに関わっていくためにも有効的な学びを提供していると思いました。今回は発達障害についての講座でしたが、次回の子育て応援ひろばは、「子どもの心と非行～少年鑑別所の少年たちが教えてくれたこと」と題して、八王子少年鑑別所の所長が講義されるそうです。子育て中の保護者はもちろん、「子育てを応援したい。手伝いたい」と願う人たちを対象としたこのような講座は大変良いと思いました。また、このような講座を受け、きちんとした知識を持って、「子育てしている保護者を応援したい。サポートしたい」と思ってくださいる方々が町田市にもたくさんいてくださることを心から願っています。

2月3日、公立小学校PTA連絡協議会第3回定例会に岡田委員とともに参加いたしました。今回、来年度へ向け、小P連のあり方についての提案がありました。現在、小P連に加盟している小学校は42校中14校と年々減少しています。そのような中で、毎年、代表校4校を決め、運営に当たっていますが、代表校になれば自校のPTAの運営と小P連の運営と両方があり、負担が大きいことに加え、42校中14校では、小学校のPTA組織の総意として意見を出すことができないのではないかという現状があり、体制を見直して改善していきたいということでした。中P連が各中学校の会長20名で構成されていることになり、小P連も42名の会長で構成し、42名が一堂に会する会にし、年6回ぐらい情報交換を行い、小学校間の連携を深め、小学校のPTAの総意として意見など出していきたいという提案でした。今回の定例会は、あらかじめ市内42校すべてに案内を出し、小P連のあり方を変える旨を伝え、必ず出席するようお願いしてあったそうです。結果、6校の未加盟校が参加し、未加盟校・加盟校それぞれからさまざまな意見が盛んに出ていました。

結局のところ、今回、参加校が加盟校・未加盟校合わせて19校だったこともあり、提案の決をとることは来月3月12日へ持ち越されました。3月12日には、再度、42校に案内を出して参加を募り、なるべく多くの学校の意見を聞く中で、来年度のあり方を決めていくことになりました。小P連の組織は残すのか。会長会として新たな組織にするのか。小P連の中に会長会を新たにつくるのか。また、分担金はどうするのか。来月の話し合いを見守っていきたいと思います。

2月4日、町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式に参加いたしました。2008年度スタートの学校支援ボランティア推進事業は、年を追うごとに充実した事業展開をしていると感じています。感謝状贈呈の際に、個人も団体も、どのような支援ボランティアをされてきたのかを1つ1つ丁寧に紹介してくださることにより、感謝状を受け取られる方々も、

式に参加している私たちも、活動内容がわかることで心が1つになれるような一体感を感じることができ、とても良い式だと思いました。また、今年度の実践報告は、先ほど教育長からも話がありましたが、南中学校、鶴間小学校、小川小学校と南地区から3校ありましたが、どの報告も子供のためにということで、ボランティアコーディネーターの方々が誠心誠意、一生懸命に働いてくださっていることがよくわかり、頭の下がる思いがしました。人との関わりが少ないと言われている子供たちに、素晴らしい大人との出会いを数多く与えてくださり、子供たちの心に温かい人とのつながりや地域で生きていることの幸せを感じさせてくださっていることに心から感謝いたしました。町田の教育のすばらしさを感じることができ、本当にうれしい式でした。統括ボランティアコーディネーターの方々にも改めて感謝いたします。

以上です。

○**委員長** ありがとうございます。続きまして、井関委員、お願いいたします。

○**井関委員** 本日は、学校給食展と防災教育の講演について、2件ご報告いたします。

先ほど教育長の月間活動報告の中にありました学校給食展ですが、1月24日、市庁舎のイベントスタジオで開催されているのを見ました。ちょうどその日は、文部省が学校給食記念日というのを初めは12月24日に決めたそうですが、冬休みのため、現在は一月遅らせた1月24日を各学校が給食記念日としているそうです。昼どきで、庁舎に来られた市民の方が子供時代を思い出して足を止められていました。中には、担当者にいろいろ詳しいことを聞いている方もいらっしゃいました。

市庁舎の中で、見学される方も多いのですけれども、中学校の給食調理過程をビデオで放映していましたので、その中から1つ。焼きサバの切り身の中に金属の温度計を突っ込んで測定している画面ですけれども、通常は75℃、1分間以上加熱が原則だそうです。ノロウイルスはこの温度では死滅しないので85℃で焼いているそうです。小学校と中学校のその日の給食が展示され、さらに展示期間中の3日間は試食も提供していましたので、市民に給食に親しみを持ってもらえたと思います。

ついでに、教育委員会で発行する「町田の教育」の学校給食のところを見ますと、ずっと前から書いてあるのですが、1947年（昭和22年）12月、町田第一小学校で週1回のみそ汁給食が開始されたとありますけれども、『町田市教育史 下巻』の給食事始めのところを見ますと、木目田光南村元村長の談話として、戦前、南第二小学校で昭和13年から15年ごろ、冬に子どもたちの使う弁当に温かいお湯を添えてやろうという話が出て、それなら

いっそみそ汁にしようということになったという記事があります。『成瀬学校歴史』という本に「昭和17年、学校給食調理場（瓦葺7坪）9月完成」とあるそうですので、これは事実ではないかと思えます。

もう1つは、2月6日、東京自治会館で開催されました東京市町村教育委員会連合会研修会に、佐藤委員長、岡田代理、高橋委員、私と、それから有田課長、寺本指導主事の合計6名で参加しました。講師は、気仙沼市教育委員会学校教育課副参事兼指導主事の及川幸彦氏で、「生き抜く力を育てる教育への挑戦 東日本大震災からの教育の再生と創造」という講演を聞きました。及川氏は、小学校の教諭時代の2002年ごろからフルブライト・メモリアル基金のマスターティーチャープログラムに参加していて、アメリカの小学校と国際的な環境学習に取り組んでおられます。さらに、2004年からは、気仙沼市における国連の「持続可能な開発のための教育」の活動をされてきました。英語ではEducation for Sustainable Developmentで、略語でE S Dと呼ばれています。これらの経験と、このときの人脈が大震災後の復興に大きく寄与したそうです。東日本大震災の前から広範な活動をされていて、震災時には教育委員会の指導主事として難事に対応された方です。現在も、文科省やユネスコ、OECDなどの国際機関と連携して教育行政に携わっておられます。この講演会は、及川氏にとっても意味のあるものであったのではないかと思います。

講演内容は広範ですので、震災時の子どもたちの活躍、学校再開への行政の対応、そして防災教育の提言に限ってご紹介します。

まず、子どもたちが助けられる人から助ける人になっていった中学生の活動例ですけれども、子どもが大人に勇気を与えたということだそうです。具体例としては、震災後のトイレ管理、特に水汲み、焚出しの手伝い、海岸や広場の瓦礫の撤去、肩揉みボランティア、吹奏楽部による慰問コンサートなど、地域の一員となっています。教育委員会がとった学校再開のための緊急の対応としては、避難所と学校を結ぶスクールバス、不完全でも学校給食を、それから、ソーラーパネルにより運転される井戸と施設設備の整備、被災児童生徒への経済的支援、全国世界との支援ネットワークの構築を挙げておられました。

これが最後ですけれども、防災教育に対する気仙沼の提案です。まず、自助、自分の身を守る力、判断力が大切であること。2番目は共助、共に助け合う力、協働です。それから、公助、行政との連携、組織力。ここまではすでに言われていることですが、さらにN助で、NはアルファベットのNで、NPO、NGO、それにネットワークです。

以上ですが、震災直後、学校再開を急がねばならなかった理由は、避難先がバラバラの

環境では、学校がないとコミュニティが崩壊する。これらのコミュニティの重要性を言われ、東京では大変でしょうねと同情されました。

以上です

○**委員長** ありがとうございます。続いて、岡田委員、お願いいたします。

○**岡田委員** 1月17日、「遠藤周作『侍』展」がありました。私自身が遠藤周作さんの大ファンであり、また、私の周りの方々の間でも関心が大変高く、楽しみにして行ってきました。私にとっては貴重な資料がたくさん展示されていて大変興味深いものでした。

「侍」という小説自体が若い人たちには少し取っつきにくいかなというところもあったのですが、先ほど見せていただいた展覧会ガイドを、職場体験で来た中学生がつくってくれたということでお渡しいただきました。これを見て、本当に中学生の子たちが興味を持ってくれるといいなと思いました。今さっと見ただけでも、「侍」に対して子どもたちから捉えた観点で、わかりやすい説明がされていて、これはとても良かったなと思いました。

次にご報告する内容は、2月3日の中教研領域部門で、特別支援教育のところに私と高橋委員とで行ってまいりました。くすのき学級、せりがや学級、丘の上学級、それから町田第三中学校の相談学級、それぞれの先生方から、現在の状況と、抱えていらっしゃるお悩みなどについてお話をしてくださいました。学校訪問などで特別支援学級や、こうした通級学級を見せていただいていたのですが、先生方がどういう思いで実際にご指導に当たられているのかということがこの機会によくわかり、多少なりとも理解が深まったと感じました。非常に意味のあることでした。

この中で、教育相談を受けるのに待っている人が多いというような話が少し出たのですが、それに対して、町田市では医療機関、臨床心理士によるしっかりした見立てが行われ、治療計画が立てられ、指導計画にも念入りなアドバイスをいただいている。そうしたしっかりとした町田市の教育相談のシステムというものは、現在ではどこでも行われているというものではなくて、なかなか得難いものであり、貴重なものであるという話を聞きました。「大変良かった、安心した」と思いました。と同時に、今、どの学級も適正とされる人数以上に子供たちを受け入れている現状にあって、良い環境であるのかなという悩みを抱えられている先生が多く、これに対しては、教育委員としてこれからしっかり考えていきたいと思いました。

順序が少し前後いたしますが、1月26日、生涯学習センターのわくわくプラネタリウム体験「冬の星座めぐり」に行ってまいりました。これは、1日3回、子どもたちそれぞれ

55名の定員で募集されたものですが、私は1時の回に参加しました。ほとんど満員でした。移動プラネタリウムというのは、巨大なビーチボールの中に入って、そこで投影をしてもらうということでした。まずは説明がなされて、そこで星座早見版というものを子どもたちがつくり、それからいよいよ子どもたちは、ワクワクしながら巨大なビーチボールの中へ入っていきました。そして、そこで本当に楽しい説明をしていただきました。今、冬は星が大変きれいに見える時期で、特にこの間の雪の降った晩などは、夜、外に出ましたら、プレアデス星団ですとか、本当に日ごろ見られないような二等星ぐらいのところまでよく見えませんでしたので、子どもたちも大変刺激を受けて、きっと夜の空を見上げていてくれるのではないかなと思います。本当にそういった意味で、知的好奇心を刺激するようないい企画でした。子どもからの質問の中には、国際宇宙ステーションというのは、いつ、どの辺で見られるのかというようなこともありまして、それに対して、講師の方が大変丁寧に答えてくださっていました。

以上です。

○**委員長** ありがとうございます。それでは、各委員からのご報告に関連して、質問などありましたらお願いします。

(「ありません」の声あり)

それでは、以上で月間活動報告を終了いたしまして、日程第2、議案審議事項に入ります。

まず、議案第77号を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

○**教育長** それでは、議案第77号についてご説明申し上げます。「町田市立学校学校支援地域理事の解職の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」でございます。

本件につきましては、町田市立学校の管理運営に関する規則第13条の4の規定に基づく学校支援地域理事について、学校長から解職の具申があったため、別紙にございますとおり、2014年1月28日付けで臨時専決処理をいたしましたので、本委員会において承認を求めます。

今回の対象となった地域理事の方は、別紙の1名の方でございます。ご本人の退職の願い出によるものでございます。

説明は以上です。

○**委員長** ありがとうございます。ただいまの説明に関しまして、何かございますか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第77号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

次に、議案第78号を審議いたします。

○**教育長** 続いて、議案第78号についてご説明申し上げます。「町田市教育委員会児童生徒表彰について」でございます。

本件につきましては、他の模範となる行いをした児童・生徒又は芸術、文化、スポーツ等の分野で活躍し、優秀な成績を収めた児童・生徒を、町田市教育委員会児童生徒表彰規程に基づき、表彰するものでございます。

今年度の表彰対象の個人・団体につきましては、別紙の一覧のとおりで、個人が43名、団体が5団体でございます。昨年は個人が36名、団体が6団体ございました。今回の児童生徒表彰の対象となる個人・団体につきましては、以前ご説明を申し上げました、新たに定めました町田市教育委員会児童生徒表彰規程を適用し、選定をしたものでございます。

説明は以上です。

○**委員長** ありがとうございます。ただいまの説明に関しまして、何かございましたらどうぞ。

○**岡田委員** 今年度から児童生徒表彰についての規程が設定されたので、表彰内容が非常に明快、わかりやすくなったという感想を持ちました。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにございますか。

○**高橋委員** このように教育委員会で児童・生徒を表彰することは、表彰される子どもたちにとって本当に自己肯定感も高まり、また、意欲も湧くものだと思います。また、それを聞くほかの子どもたちにとっても、自分もがんばろうという気持ちになって大変良いことだと思っています。「学校だより」を見ていますと、11月号あたりから、ここには載っていないですけども、いろいろなところに応募をして表彰されたということや、スポーツにおいてもたくさん表彰されていることを知り、大変うれしく思っています。校長先生方がそういう子どもたちを「学校だより」に載せてくださっていることも、子どもたちにとっては大変励ましになると思いました。

以上です。

○**委員長** ほかにございますか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第78号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第80号を審議いたします。

○**教育長** 続いて、議案第80号についてご説明申し上げます。「町田市教育プランの改定について」でございます。

本件につきましては、教育を取り巻く社会状況の変化を踏まえまして、教育委員会の施策をさらに充実させていくために、2009年に策定した町田市教育プランを別添のとおり改定するものでございます。

この教育プランについては、1月23日、先ほどご報告を申し上げましたが、町田市の経営会議において承認をいただいたものでございます。また、内容につきましては、これまで縷々ご説明を重ねてきたとおりでございます。

説明は以上です。

○**委員長** ありがとうございます。町田市教育プランについては、教育委員としても、これまで何度も協議をしてきたことでございますが、改めまして何かご質問などありましたらお願いします。あるいは、ご意見でも結構でございます。

○**高橋委員** このようにして教育プランが無事にできたことを心から感謝します。改定に際しましては、多くの議論がなされ、その都度、事務局の方々が文章や内容を吟味して、何度も考えてくださったことを本当に感謝しております。また、この教育プランが各小・中学校で着実に実施されますようお願いしていますし、このような教育プランをもとに、町田の教育がなされていることが保護者や市民に浸透していくようにと願っています。

○**委員長** ありがとうございます。

○**岡田委員** 今、高橋委員のおっしゃったのと、本当に同じように思います。町田市教育プランがせっかく改定されるわけですから、どのような形でより多くの方々に読んでいただけるのか、周知の方法としてはどのようなものを考えていらっしゃるのか教えてください。

○**委員長** この教育プランの周知についてお願いいたします。

○**教育総務課長** 学校に各2冊ずつ、また、庁舎の関連課に配布するとともに、図書館に

も配布いたします。あと、ホームページには、データで掲載いたします。以上のような形で周知を図っていこうと考えております。

○**教育長** 若干補足をさせていただきます。今、ホームページという話が出ましたけれども、同日に町田市の広報でも新しい教育プランが策定されたということを市民の皆様にお知らせをしてみたいと思います。同時に、やはり今ご指摘をいただいたように、新しい教育プランができて、町田市の教育はこの新しい教育プランを基本にこれから2014年度から進めていくのだということを市民の皆さんに承知をしていただく、知っていただくということは大変大切なことだと思いますので、ほかにどんな方法が考えられるのかということについて、まだ少し時間もございますので、事務局内部で検討してもらいたいと思います。

それともう1点、やはり新しい教育プランということで、従来の教育プランとはまた違った観点も取り入れているわけですし、今後、計画期間5年間にわたる町田市の教育の基本計画でございますので、これを着実に実施するのは教育委員会事務局に課せられた重大な責務だと、私自身も思っております。事務局全体を挙げて、この教育プランの実施に取り組んでまいりたいと思います。

以上です。

○**委員長** ほかにいかがでしょうか。

○**教育総務課長** 教育プランの周知についてですが、教育広報の3月号にも教育プランの改定について掲載する予定です。以上です。

○**委員長** ほかにいかがでしょうか。

私からですが、教育プランの78ページに大変重要なことをまとめていると思います。1つは、この教育プランを着実に推進するための組織運営ということで、2点指摘されていますが、語尾だけ読んでみますと、教育委員会の内部のことですが、マネジメント機能を強化するための仕組みを構築しようとする。それから、小・中学校においては、学校が校長と教職員でもって発揮するわけですが、それに向けては、教育委員会は小・中学校と目標や課題を共有して学校運営に対し適切な支援を行うということ。

そして、次に市長部局及び関係機関等との連携・協力ということで、ここでも2つ指摘されていますけれども、1つは、教育委員会だけじゃなくて、関連する部門と相互に連携・協力しながら効果的に施策を推進するという。もう1点は、行政だけではない、家庭、地域、行政が相互に連携・協力して、社会全体で行うんだということ。こういうこ

とをプランの中で押さえておりますので、これは事務局、そして私ども教育委員も一緒になってこのことを忘れないようにして確実に進めていきたいと思えます。

ほかによろしいでしょうか。

(「ありません」の声あり)

それでは、議案第80号を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第82号を審議いたします。

○**教育長** 続いて、議案第82号についてご説明申し上げます。「町田市社会教育委員の設置に関する条例の全部改正について」でございます。

本件につきましては、地方分権改革関係一括法の制定による社会教育法の改正に伴い社会教育委員の委嘱に関する基準を規定するとともに、条例全体の文言を整理するため、条例の全部を改正するものでございます。

なお、この条例は、平成26年（2014年）第1回町田市議会定例会に上程をいたします。

新しく全部改定をした後の条例につきましては、別紙に添付のとおりでございまして、特に第4条に、社会教育委員として委嘱する要件について定めたものが大きなものでございます。その他、それぞれの条文における文言を全般的に整理するというで全部改正という形になったものでございます。

説明は以上です。

○**委員長** ありがとうございます。ただいまの説明に関しまして、何か質問などございますでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○**委員長** それでは、お諮りいたします。議案第82号は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

それでは、日程第3、報告事項に入ります。

追加の報告はございますか。よろしいですか。

それでは、報告事項1、「教育プランのパブリックコメント実施結果について」をお願いいたします。

○**教育総務課長** 報告事項1 『『町田市教育プラン（案）』パブリックコメント実施結果』についてご報告いたします。

町田市教育プランの改定に当たっては、2013年10月1日から10月31日までパブリックコメントを実施、5名の方から14件の意見をいただきました。その内訳ですが、学校図書館に関するご意見が3件、教室の開放に関するご意見が2件、学校支援ボランティアに関するご意見が1件、校務の合理化に関するご意見が1件、特別支援教育に関するご意見が1件、クラブ活動・部活に関するご意見が2件、生涯学習に関するご意見が2件、その他の意見が2件となっております。ご意見の概要と教育委員会の考え方の詳細につきましては、資料の2ページ以降をご覧ください。

パブリックコメントの実施結果につきましては、3月の町田市議会定例会文教社会常任委員会で報告するとともに、「広報まちだ」の3月21日号に掲載し、同日付けで市のホームページにおいても公開する予定でございます。

以上でございます。

○**委員長** ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、何か質問などありますか。

（「ありません」の声あり）

それでは、次の報告事項をお願いいたします。

○**指導室長** それでは、報告事項の2点目、「町田市学校評価検討委員会設置要綱の制定について」、ご報告をいたします。

制定理由といたしましては、この要綱は、町田市立学校の管理運営に関する規則第17条の2の規定に基づく学校評価の実施に関して必要な事項を検討するため、町田市学校評価検討委員会を設置することを目的として制定するものでございます。

位置づけといたしましては、町田市教育プランにおいて、基本プランの個別施策における「スクールボード校の充実」及び重点プランの重点事業における「学校評価の推進」を図るために実施をするものです。委員会の役割としては、学校評価の評価項目、評価方法等について、統一的なルールの策定を行っていくものです。

委員としては、事務局を指導課、教育総務課といたしまして、メンバーとしては、小学校・中学校、学校地域支援理事の方をそれぞれ1名ずつ、それから、小学校・中学校の校長をそれぞれ2名ずつで構成をしております。

報告は以上でございます。

○**委員長** 何かご質問ありますか。

(「ありません」の声あり)

それでは、次の報告事項をお願いいたします。

○**生涯学習総務課長** では、報告事項3「自由民権資料館 第2回企画展 地域展パート7『小野路村展』の開催について」、ご報告させていただきます。

開催期間につきましては、2月8日の土曜日から3月30日の日曜日までとなります。

自由民権資料館での地域展は、今回で7回目ということになります。小野路村が江戸から明治にかけて地域行政の中心であったことなどを中心に、多くの史料を通して、縄文から現在までの小野路の歴史を紹介いたします。

構成案につきましては、レジュメに記載のとおりでございます。

関連企画につきましては、3回の講演会とフィールドワーク及び毎週土曜日に展示解説を行います。

今回、珍しい展示の1つをご紹介しますと、大正から昭和にかけて撮られたガラスの乾板写真です。当時の写真機は、高価で一般には普及されておりませんでした。今回は現像した当時の小野路の写真を展示したいと思います。こちらのレジュメに記載されている写真も当時の乾板写真でございます。

また、「いにしへの小野路写真展」を、小野路宿里山交流館で同時開催いたします。こちらでも乾板写真を展示いたします。

報告は以上でございます。

○**委員長** 何かご質問ございますか。よろしいでしょうか。

(「ありません」の声あり)

それでは、以上で報告事項を終わります。

それでは、休憩いたします。

午前10時47分休憩

午前10時49分再開

○**委員長** それでは、再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○**委員長** 以上で町田市教育委員会第11回定例会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

午前10時51分閉会